

比鉄道事業統括室を新設 全体最適化で円滑推進

オリエンタルコンサルタンツグローバルは、6月1日付で「フィリピン鉄道事業統括室」を技術本部に新設する。同国で実施中の複数の大型鉄道事業を俯瞰（ふかん）し、全体の最適化を図るとともに情報の共有化を図り、事業の

円滑な推進を図るのが狙い。統括室長には宮越一郎取締役技術本部長が就く。

同国では、急速な経済発展とともにマニラ首都圏とその近郊の人口が急増。交通渋滞や大気汚染など環境への影響が深刻化しており、日本政府が成長戦略・国際展開戦略の柱と位置付ける質の高いインフラ輸出政策の一環として、大規模公共交通網の整備を支援している。

同社は、マニラ首都圏大量



南北通勤鉄道・マラリオ駅完成イメージ

旅客輸送システム拡張事業（LRT1号線およびLRT2号線延伸）やマニラ首都圏地下鉄事業、南北通勤鉄道事業、南北通勤鉄道延伸事業など、日本のODA（政府開発援助）による鉄道事業で計画から設計、施工監理までコンサルタントサービスを提供しており、2018年7月には現地法人も設立している。